

オンライン朝会「ふわふわ言葉」6 / 30

今月は、ふれあい月間でした。みんなが心を通わせて、楽しい学校生活を送れるように、いろいろな取り組みをしてきました。例えば「SOSカード」「たてわり班活動」「さくら学級との交流給食」「朝の読み聞かせ」「道徳などの授業」、また、「きこえとことばの教室のお話」をした学級もあります。

そして、この写真は、さくら学級での活動の様子です。「ふわふわことば」って、わかりますか？

「よかったね」「だいじょうぶ」など、相手の心が元気になったり、楽しくなったりする「ふわふわことば」です。

「ふわふわことば」を使って、ボール当てゲームをしていました。ボールを当てられたり、コートの外に出なければいけないだったりしても、「ふわふわことば」を掛け合うことで、にこにこで楽しむことができました。

「ふわふわことば」は、読書旬間の本の紹介や、保健の掲示板にも紹介されていますね。

「ふわふわことば」の反対は、「チクチクことば」です。

先ほど表彰した EBS とマキバオーのみなさんに、「チクチクことば」を読んでもらいます。どんな気持ちになりましたか？ 「うるさい」「あっち行って」など、「ちくちくことば」を使うと、相手の心が痛くなったり、せつなくなったりしますね。

次に「ふわふわことば」を読んでもらいます。今度は、どんな気持ちになりましたか？

同じ場面でも、相手の心が元気になったり、相手の心が痛くなったり悲しくなったりします。

大切なことは、みなさんが、【**どちらの言葉を使うか**】、そして、【**言葉を選ぶ力**】をつけることです。

言葉は「心」です。鏡は姿を映しますね。

言葉は自分の「心」を映します。言葉は、自分の心を映す鏡だと思ってください。自分がどちらの言葉を使うかで、相手も気持ちも変わります。